

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名：二本松市建設部都市計画課

事業の名称：二本松駅前広場整備事業

実施都市名：二本松市

事業目的

二本松駅前周辺地区は、商業施設や公共施設等の集積地であるとともに、城下町の歴史・伝統・文化を育む中心市街地となっているが、駅前広場が狭隘で交通結節機能が不十分であることから、渋滞が多く歩行者等も危険な状態であった。

また、郊外への大型店出店やモータリゼーション対応の遅れなどにより中心市街地の空洞化が進展していたことから、駅前広場を再整備することにより、市の玄関口として円滑な交通体系を確立するとともに、中心市街地の活性化と賑わいのあるまちづくりに寄与するものである。

事業概要

事業名称： 二本松駅前広場整備事業

路線名： 本町・若宮線

事業箇所： 福島県二本松市本町二丁目地内 外

広場面積： $A=4,200\text{m}^2$

バス・タクシー・一般車・マイクロバス乗降場、
タクシー・マクロバスプール、一般車駐車場、
駐輪場、コミュニティ広場

事業費： 約11億円

事業実施期間： 平成16年度～平成22年度

本事業は、二本松駅前広場を拡張し、バス・タクシー・一般車等の乗降場や観光客の送迎車待機所など、各交通施設を機能的に分離して配置することにより交通結節機能の強化を図るとともに、渋滞緩和と交通の円滑化を目的として接続道路を整備した。

また、電線地中化やバリアフリー化対応により、歩行者等の安全な通行を確保し良好な道路空間を創出するとともに、コミュニティ広場などの整備により賑わいと魅力のある憩いの場を整備した。

駅前広場の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名:二本松駅前広場整備事業

路線名:(都)本町若宮線

事業箇所:二本松市本町地内

広場面積:4,200㎡

総事業費:約11億円

事業期間:平成16年度～平成22年度

○乗降場の整備

供用前:統一性が無く無秩序な乗降

供用後:各交通施設毎に機能的に分離

○歩行者動線

供用前:歩車道分離が不明確であり

危険な状態

供用後:動線が確保され安全性が向上

「整備効果」

○交通結節点機能の強化

- ・道路新設及び交通規制見直しによる交通の円滑化
- ・バス、タクシー、一般車の乗降場分離による渋滞緩和
- ・駐車場(15台)や駐輪場の整備(90台)による違法駐車・駐輪の減少

○歩行者と自動車の分離による安全性の向上

○電線地中化や誘導ブロック設置等のバリアフリー化による快適性の向上

○乗降場シェルターの整備による利便性の向上



「その他の事業効果」

○中心市街地の活性化と賑わいのあるまちづくりに向けた活動

- ①テナントブース、美術館、学習スペース等を有する市民交流センターを関連事業により整備し、様々な年代の住民に幅広く利用されている。



- ②河川改修で整備した遊歩道を利用するウォークラリーが開催され、名所・旧跡の回廊に利用されている。

事業前写真



平成16年3月撮影

駅前広場全景(東側から)

平成16年3月撮影



混雑する駅前広場



屋根のない乗降場



雑然とする駅前広場



電線や段差の目立つ道路

事業後写真



駅前広場全景



バス乗降場



屋根を整備した一般乗降場



コミュニティ広場



電線地中化及びバリアフリー化